

# 岩手教区報

第314号  
 立教182年2月1日  
 天理教岩手教務支庁  
 盛岡市馬場町3番40号  
 TEL 019-622-7962  
 FAX 019-623-9597

東日本大震災津波発生から、来月で丸8年が経過する。沿岸地域住民の足・三陸鉄道は、JR東日本から山田線・宮古―釜石間(55キロ)の移管を受けて、3月23日に第三セクターで国内最長となるリアス線(盛―久慈間163キロ)が全線開通となる。

リアス線の開業は、東日本大震災の津波で甚大な被害を受けた沿岸の被災地が、一本の鉄路で結ばれることを意味する。震災以降不通だった宮古―釜石間は、8年ぶりの運行再開でもある。

東日本大震災津波の時、宮古市田老の小林地区にある田老分教会周辺にも津波が迫った。しかし、地区の海側に三陸鉄道の高架橋があったお蔭で、教会と周辺の数戸の家屋のみが、不思議にも浸水被害を免れることができた。流されてきた大量の製木材が、5メートル程の高架橋に引っかけ、津波を堰き止める役割をしたからだ。

田老分教会長である母は、年祭の買い物に出かけて、閉伊川河口の堤防付近を歩いていたら、堤防を乗り越えてきた波に足をすくわれかけたが、すんでの所で市庁舎に駆け上がり、難を逃れた。庁舎6階で一夜を過ごした母は後日、あの時見えない誰かの声に導かれ、見えない何かに手を引いてもらった気がした、と述懐している。



## ふしを乗り越え、一手一つに 宮古支部長 高橋 邦之

昭和8年、三陸地方を襲った昭和三陸大津波で、特に被害が甚大であった田老村(当時)にある田老宣教所は、教会建物の流失と、所長及び次男以外の家族全員出直しという大ふしをお見せ頂いた。災害発生から13日後、山本利正支庁長齋主のもと、教会跡地で慰霊祭がとめられ、その後教会は内陸部の現在地に移転した。

教会名称の理は末代とお聞かせ頂き、世界一れたすりたいと思召される親神様、そして存命の教祖がお鎮まり下されている。昭和、平成と時代が移り変わっても、人と地域を温かくお見守り下さり、永く御守護頂いている有難さを、震災から8年が経つ今、改めて実感する。

昨年、宮古支部長及び副支部長、そして釜石支部長が相次いで出直され、私達岩手沿岸の道に大ふしをお見せ頂いた。現在、沿岸の支部統合の話が進められているが、宮古―釜石間の三陸鉄道の開通や、三陸道の整備等、被災した地域と地域が繋がっていく復興の姿を思い合わせたい時、支部の統合も必然のように思えてくる。

私達地域の教友は、度重なるふしを乗り越え、地域や系統も越えて、一手一つに励まし合い勇ませ合って、御三方のみたま様にご安心頂けるよう、道の進展に力を尽くそう。



### 「自然治癒力」

今、インフルエンザが猛威を振るっている。更に、普通の風邪もインフルエンザ以上に蔓延しているという事だ。

私も昨年の暮れに、鼻風邪から咳と、暫く症状が続き苦痛だったが、いつの間にか治っていた。風邪には、解熱剤や咳止めなど、症状を和らげる薬はあっても、根本原因であるウイルスを退治する特效薬はない。「風邪には栄養をとり、おとなしく寝ているのが一番」というお医者さんも少なくない。それは、私達の体には、自分で自分の病気を治す自然治癒力というものが、神様のご守護により生まれつき備わっているからである。これからの免疫の働きと言われる。つまり、体の外から細菌やウイルスが侵入してきたり、

或いは、これまでおとなしく眠っていた細菌やウイルスが活発に活動を始めたとき、その細菌やウイルスを撃退するのが、体に備わっている免疫システムである。風邪などのウイルスも、免疫の力で撃退され、大事に至る前に治るのである。ところが、慢性病で弱っている人や高齢者など免疫力の極端に低下している人は、体内にわずかだったウイルスも居心地が良い為、次々と増殖して、肺炎などを併発し、命を失う事もある。

そこで、私達は日々免疫力を高めておく事が大切となる。例えば、ガンの治療でも従来の外科手術、抗がん剤治療、放射線治療等の他に、最近では免疫療法が注目されてきている。

免疫を高める上で、我々信仰者は心と免疫の相関関係を重視する必要がある。人の体は毎日2百万個の細胞が造られている。その中、6千個の細胞は悪玉だが、毎日、免疫力により排除されているという。しかし、それが正常に作用しなくなると、病気になる。毎日の心の浄化が如何に大切かという事である。

ご神言に、「たすけ一條 勇める処 話を

つたえ心発散すれば身上速やかとなる。病というはすつきりないでめんめん心通り現れるのやで」と諭される。過去への感情的執着、悪い緊張の持続、陰気な心のしこり、恨み等を断ち切り、心が発散できるよう、日々おたすけの上に勇ませて頂きたいものである。

### 学生会新委員長紹介



新委員長 高野 慎司  
 (奥州支部 岩手沢分)  
 新委員長としての今後の活躍を祈ります。

### 行事予定

- 2日 主事会(9時)  
役員会議(10時)  
献血ひのきしん
- 8日 学生担当委員会例会(19時)
- 9日 青年会例会(18時)
- 10日 雅楽初心者講習会(10時)  
学生会例会(10時)
- 13日 婦人会例会(11時)
- 17日 女子青年例会(10時)  
道の教職員の集い役員会(10時半)

【2月分】

立教182年

本年の活動について

婦人会

主任 加藤早苗



婦人会初例会にて、本年の活動方針が発表されました。

活動方針

- 〇 恩報しを念じ 実のようばくに育つ
- 一、教えを学び 身につける
- 一、身近な人を実のようばくに育てる
- 一、百万会員を目指してにをいがけ、おたすけに励む

創立百十周年を目指して

一人が二人の会員を〇守護頂きましよう  
特に、来年迎える創立百十周年に向かつて実動に励む年と位置づけ、第101回婦人会総会(4月19日)には、全委員長部長の参加、別席者の丹精などが打ち出されました。また、本部で開催される女子青年大会(11月3日)には、多くの女子青年の結集を図り、若き婦人会員としての決意を固めてもらいたいと示されました。そして、全国各地で開催される「創立百十周年会員決起の集い」に、全婦人会

員が参加できるように心にかけて、苦心して声をかけ続けましょう、と奮励努力を促されました。岩手教区は次の4会場です。

- 6月9日(日) 午前10時 宮古港分
- 6月30日(日) 午前10時 浄法寺分
- 7月14日(日) 午後1時 磐井分
- 9月1日(日) 午後1時 教務支庁

岩手教区以外の会員にはチラシや参加票に手紙を添えて、各地域の会場へお誘い下さい。よろしくお願いいたします。

青年会

委員長 相澤元



青年会の1月例会の席上、立教182年の基本方針と活動目標が発表されました。基本方針

「世界たすけへの挑戦」

これから青年会は心新たに世界たすけに挑む。世界たすけとは、世界中の人々に教えを伝え、心をたすけることである。その為には、世の中の動きをしっかりと把握し、現代人が抱える問題に関心を寄せ、解決に努めることが欠かせない。同時に、自ら率先して教祖のひながたをたどり、現代人にわかりやすく教えを伝えら

れるよう理解を深めていく。その上で、青年会員それぞれが自らの徳分に気づき、互いに認め合い、自分にできるおたすけに動き出していく。さあ今こそ、天理青年の意識を改革し、愛と希望を持って、世界たすけに踏みだそう。

少年会

団長 高橋邦和



本年の年頭幹部会において宮森内統領は、少年会の目的を見失うことなく、我々の成人した姿を子供たちに映していく努力を重ね、活動方針に沿ってつとめてもらいたいと話されました。岩手教区団ではお話を受けて、昨年引き続き、少年ひのきしん隊などに参加する「わかぎ(中学生層)」の丹精に努め、また、鼓笛隊活動の啓蒙を行い、指導者の養成や隊員の増加につなげてまいりたいと存じます。

本年の少年会活動方針は、「日々に陽気ぐらしを実践し、その喜びを子供たちに伝えよう」です。少年会員への信仰的なアプローチはもとより、少年会員の親が信仰の喜びを日々実践して、子供たちに伝えることができるよう、一手一つに歩ませていただきたいと思います。

学生担当委員会

委員長 権谷正一



1月25日の例会にて、平成31年の活動方針が発表されました。

〇 基本方針  
「誠の心で人材の育成につとめよう」  
〇 重点項目

・ 学生生徒修養会、高校生の集い「まなびば」への参加を呼びかけよう  
〇 これを文章にすると、「学生層育成に携わる者は、常に教祖の親心、ひながたを心に湛え、学生が、真のようばくへと成長するよう努める。具体的には、教祖のお膝元であるおぢばで開催される学生生徒修養会へ、一人でも多くの学生が参加できるようにお誘いし、教区においては、教えや信仰の素晴らしさに触れることのできる高校生の集い「まなびば」に、これまで以上に声をかけよう。また、17歳以上の学生には別席を勧め、そしておさづけの理を拝戴したなら、おさづけを取り次ぐようばくへと成人して頂けるように導いていこう」となると思います。  
岩手教区学生担当委員会も、この方針

に沿って努めて参りますので、皆様のお心寄せをよろしくお願いいたします。



学生担当委員会

「春の学生おぢばがえり」

団体募集

来たる3月28日、「次代を担うようばくへ」をスローガンに、おぢばにて「立教182年春の学生おぢばがえり」が開催されます。

これに向けて教区学生担当委員会では左記の通りバス団参を企画しています。学生にとつて、5日間という時間をつくることは、奇跡を起こす程に難しい昨今でありますが、一人ひとりに声と真心をかけ、おぢばへとご案内いたします。現地での合流も含め、一人でも多くの学生さんとおぢばがえりできますよう、お力添えの程、よろしくお願いいたします。

記

期間 3月26日(火)〜30日(土)  
費用 2万5千円  
内容 式典、直属アワー、別席、前夜祭、交歓会、など

観光 ユニバーサル・スタジオ・ジャパン  
宿泊 小南部詰所  
※詳細は募集チラシを参照下さい。



祭事部

雅楽初心者講習会【2月10日】

祭事部は、「雅楽初心者講習会」を左記の通り開催します。

恒例祭、葬儀、結婚式等において、雅楽はそのものの格調を高めます。初心者(含少年会員)を対象としますが、経験者も歓迎しますので、どうぞご参加下さい。

記

日時 2月10日(日) 10時〜16時  
会場 岩手教務支庁  
講師 【笙】 権谷正一先生  
【龍笛】 権谷一平先生  
【箏】 田中範道先生

参加費 500円(昼食代として)  
※管(楽器)をお持ちでない方は、2月4日までに祭事部大谷まで連絡下さい。また、複数の管を所有の方は、当日お持ち頂き、初心者にお貸し下さい。